



「国際航空宇宙展2018東京(JA2018 TOKYO)」の成功に向けて

本年11月開催の「国際航空宇宙展2018東京(JA2018 TOKYO)」におきまして、前回JA2016に引き続き、共同主催者として携わらせていただくことになりました。航空宇宙分野において国内最大級となる本展の成功に向けて、社を挙げて全力で取り組んで参ります。

さて、弊社では日本最大の総合コンベンション施設である東京ビッグサイトの管理・運営を主要な業務としておりますが、「展示会ビジネスを主体に事業を展開し、産業振興に寄与するとともに社会貢献する」という経営理念の下、展示会の主催・運営事業についても積極的に展開しています。

製造業分野における国内最大規模の見本市となる「日本国際工作機械見本市(JIMTOF)」や危機管理分野の総合トレードショーである「危機管理産業展(RISCON)」など、合計5つの事業を主催しており、2011年からは日本における最大規模のイベントである「東京モーターショー」の運営業務を一部受託しています。

これらの内、航空宇宙産業分野の主催展示会としては、航空機産業への中小企業の参入支援を推進している東京都と連携して、2009年に「東京国際航空宇宙産業展(ASET)」を初めて開催いたしました。以後、2015年までに合計4回開催し、都と同様に航空宇宙分野への参入支援に取り組む自治体やクラスター活動の活性化に貢献して参りました。

なお、ASETの開催を契機に、一般社団法人日本航空宇宙工業会(SJAC)の賛助会員として入会させていただいております。

日本の航空宇宙産業は、今後も拡大が見込まれている民間航空機市場や宇宙利用ビジネスの活発化などを背景に、将来の発展に向けた様々なプロジェクトが進行しており、平成28年度の生産額は2年連続で2兆円を超えています。多くの地方自治体などにおいても、航空機産業を成長産業として位置付け、本産業への中小企業の新規参入や取引拡大に対し、引き続き支援を行っています。

このような状況下で開催されるJA2018 TOKYOへは、海外からも出展申込や問い合わせが数多く寄せられており、前回以上に国際的になることが見込まれます。海外から多くの出展者や来場者が訪れる本展を成功させることは、東京、ひいては日本のPRにつながる絶好の機会になるものと考えております。

いよいよ11月に開催の運びとなりますが、ビジネスマッチング企画や各種講演・セミナーによる業界の最新情報の発信等、関係者の皆様にとって有意義な展示会となるよう、SJACと協働して準備を進めております。

JA2016での共催経験に加え、弊社が長年培ってきた展示会運営ノウハウをフルに活用することによって、本展を成功につなげ、微力ながら日本の航空宇宙産業の発展に寄与して参りたいと存じます。

会員の皆様におかれましては、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。